

「第1回 JR久留里線（久留里・上総亀山間）沿線地域交通検討会議」 議事要旨

1 日時 令和5年5月11日（木） 14時30分～15時50分

2 場所 君津市立中央図書館2階 視聴覚室

3 議題

(1) 「(仮称) JR久留里線（久留里・上総亀山間）沿線地域交通検討
会議規約」の制定について

(2) 久留里線（久留里・上総亀山間）の現状及び課題について

4 議事内容

はじめに、事務局である千葉県から、会議設置・開催に至った経緯及び会議の議題について説明。その後、議事に入った。

(1) 会議規約について

○資料1の規約案が、原案のとおり異議なく承認された。

○以降は座長である日本大学理工学部の藤井特任教授が議事進行を進めた。

(2) 久留里線の現状及び課題について

- ① 東日本旅客鉄道株式会社千葉支社（以下、JR千葉支社）から、久留里線の現状と課題について、資料2-1及び2-2に基づき説明があった。
- ② JR久留里線活性化協議会の取組について、協議会の事務局である君津市から、資料3に基づき説明があり、千葉県及びJR千葉支社からも取組の説明があった。
- ③ 利用状況等を踏まえ、今後、久留里・上総亀山間の沿線地域の交通のあり方を検討していくとの方向性について合意した。
- ④ 藤井座長が住民代表の3地区（久留里・松丘・亀山）の各委員に意見を求めたところ、委員からは個人の意見として、
 - ・50年、60年前の学生時代に久留里線を利用しており、当時は多くの人に乗っていたが、朝に数人しか乗っていない現状を考えると、JRから申し入れが来るのもわからなくはない。
 - ・ただ、鉄道には愛着があるので何とか残す方法はないかとの思いもある。
 - ・沿線地域の人口が減少していく中で、通勤通学など定期的な利用も減ってきているが、観光需要に着目して利用者を増やすことはできないか。利用者が減少しているとは言え、現実にも現在も利用している方がいらっしゃるのでは、どうしたらいいのか難しい。といった意見があった。
- ⑤ 住民代表から、地域の人たちに十分な説明をしてもらいたいとのことで、住民説明会を開催してほしい旨の要望があったことから、今後、君津市が中心になり、住民説明会の開催に向けた調整を行うことが決定した。

以上

J R久留里線（久留里・上総亀山間）沿線地域交通検討会議

構成員名簿

（敬称略、順不同）

【委員】

<県>

よこやま ひさのり
横山 尚典 千葉県総合企画部次長

<沿線自治体>

すずき ひろお
鈴木 広夫 君津市企画政策部長

<鉄道事業者>

おおかわ あつし
大川 敦 東日本旅客鉄道株式会社千葉支社企画総務部
経営戦略ユニットマネージャー

<有識者>

ふじい たかひろ
藤井 敬宏 日本大学理工学部交通システム工学科特任教授

<住民代表>

まつぎき まさゆき
松崎 正行 久留里地区自治会連絡協議会会長

さいとう けんきち
齋藤 健吉 松丘地区自治会長会会長

かとう ひろかず
加藤 洋和 亀山地区自治会連絡協議会会長

【オブザーバー】

<国土交通省>

まつぎ たく
松木 拓 関東運輸局交通政策部交通企画課長

みやざわ ゆたか
宮澤 豊 関東運輸局鉄道部監理課長

<関係自治体>

すずき あきのり
鈴木 昭宣 木更津市企画部地域政策室長

ひらの たけし
平野 剛志 袖ヶ浦市企画政策部企画政策課長

【事務局】

千葉県 総合企画部 交通計画課